

船舶事故等調査報告書

平成27年9月17日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2015横第64号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成27年5月13日 16時47分ごろ
発生場所	愛知県名古屋港第4区の飛島 <sup>とびしま</sup> ふ頭西方沖 名古屋港高潮防波堤中央堤西灯台から真方位014° 2,700m 付近 (概位 北緯35° 01.98' 東経136° 48.52')
事故等調査の経過	平成27年5月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 マリン <sup>マリン</sup> ダイヤモンド <sup>ダイヤモンド</sup> （中華人民共和国香港特別行政区籍）、 7,823トン 9334961（IMO番号）、TVL MARINE COMPANY LIMITED
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍）、船長免状（中華人民共和国発給）
死傷者等	なし
損傷	両舷ビルジ外板にペイント剝離
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか17人（全員中華人民共和国籍）が乗り組み、船長が操船指揮を執り、航海士が主機操縦レバー、甲板員が操舵装置にそれぞれつき、係留索を放ち、飛島ふ頭98号岸壁（以下「本件岸壁」という。）を離岸した。</p> <p>本船は、左舷錨を巻き上げてから後進して本件岸壁の西方に向かい、船首が本件岸壁に向いたところで主機を止めた後、主機を前進にかけて右舵を取り、右回頭して船首を南方へ向けた。</p> <p>本船は、右舷船首の名古屋港飛島ふ頭西灯浮標（以下「西灯浮標」という。）の西方沖に向けて右回頭しようとして主機を極微速力前進にかけ、右舵約10°を取って航行したところ、船長が右舷側からの西風の影響で船首方位の変化が少ないことに気付き、右舵一杯としたものの、平成27年5月13日16時47分ごろ西灯浮標付近の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>船長は、GPSの表示で本船の速力がないことに気付き、主機を止め、船舶代理店に乗り揚げたことを連絡した。</p> <p>本船は、上げ潮で本船の船首が浮上し、22時50分ごろ自力で浅瀬を離れた後、船内を調査して浸水がないことを確認し、四日市港に向かった。</p> <p>本船は、その後、愛知県蒲郡市蒲郡港で船底の検査を行ったところ、損傷が認められた。</p>

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 4、視界 良好  海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本件岸壁は、南方から出入りする水域で、本件岸壁の西方には係船浮標50番及び51番があり、本件岸壁と係船浮標との間は約250mであった。</p> <p>海図W1055A（名古屋港北部）によれば、飛島ふ頭と西灯浮標との間は、水深約2m以下の浅瀬が広がっており、底質は泥である。</p> <p>本船は、本事故時、軽荷状態であり、喫水が船首約4.7m、船尾約5.7mであった。</p> <p>船長は、約5年間の船長経験があり、名古屋港の岸壁では、水先人を利用せずに離着岸を行っていた。</p> <p>船長は、本事故当日に本船に乗船し、今までの操船経験からタグボートなしでも右回頭できると思った。</p>
<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与  船体・機関等の関与  気象・海象等の関与  判明した事項の解析</p>	<p>あり  なし  あり</p> <p>本船は、名古屋港第4区において、風力4の風が本件岸壁に向けて吹く状況下、軽荷状態で右回頭しながら出航中、船長が、本船の操船に慣れていなかったことから、西灯浮標付近の浅瀬に向かう態勢で右回頭を続け、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本事故当日に本船に乗船したものの、今までの操船経験から水先人やタグボートなしでも右回頭できると思い、風力4の風が吹く状況下、舵角10°で右回頭を始めたものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、名古屋港第4区において、風力4の風が本件岸壁に向けて吹く状況下、軽荷状態で右回頭しながら出航中、船長が、本船の操船に慣れていなかったため、西灯浮標付近の浅瀬に向かう態勢で右回頭を続け、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離岸作業を行う場合は、風による圧流を考慮し、必要に応じてタグボートの支援を受けること。</li> </ul>